

## 議第6号議案

### 米価下落対策を緊急に求める意見書

昨年来、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、外食を中心に米需要が大きく減少し、2020年産の米価は下落を続けた。

農林水産省の統計によれば、本年9月末時点における民間の米の在庫は全国で214万トンに上っており、昨年同時期より24万トンの増加となっている。

こうした在庫状況を背景に、農業協同組合（JA）が農家に示す米の買取価格、いわゆる概算金が、埼玉県では一俵あたり8,300円と昨年の1万2,200円から32%下落し、本県農家に衝撃を与えた。

米生産者はこの20数年、米価の下落・低迷に苦しんできた。かつて1俵平均で2万2,000円を超えていたのが、今や1万円前後である。他方、農林水産省の調査では、米1俵を生産するのにかかる直近（2019年産米）の経費は、平均で1万5,000円を超えている。米農家の多数は赤字生産となり、生産費が平均より高い中小規模や中山間地域の農家は、米代金では家族労働費どころか農機具、肥料などの物財費さえ賄えない事態である。

コロナ禍による未曾有の危機下にあって、米農家、地域経済、主食用米の安定供給を守るために、今こそ、より一層の米価下落対策の取組が求められている。

よって、政府が過剰在庫米を買い取り生活困窮者、学生、子ども食堂などへ供給することや、農業者の生活を安定させるための制度をつくるなど、米価下落に対する緊急対策を速やかに実現されることを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年12月

埼玉県羽生市議会議長 島村勉

衆議院議長 殿  
参議院議長 殿  
内閣総理大臣 殿  
財務大臣 殿  
農林水産大臣 殿

令和3年12月13日提出

埼玉県羽生市議会議員	斉藤	藤原	万紀子
〃	江原	山本	博之
〃	西	藤	丈由
〃	野	中	一隆
〃	増	田	敏城
〃	柳	沢	敏雄
〃	峯	寄	貴生
〃	中	島	直樹
〃	保	泉	和正
〃	松	本	敏夫
〃	丑久保	恒	行